

2020年 室蘭ジュニア秋季シングルス大会を終えて

各参加者、コーチ、保護者へのお願い

ジュニア達のマナーについて

試合中、隣のコートの後ろにボールが転がって行った場合、隣がラリー中にも関わらず、ボールを拾いに行っている事が何度かありました。これはマナーとして、ラリーが終わるのを待ってから拾いに行く事を教えて頂きたい。

また、試合中のトラブルでは、カウントやアウトのコール(声)が小さすぎて、相手に聞こえておらず、お互いの確認不足による行き違いがありました。セルフジャッジの場合、大人でも子供でも相手に聞こえるように大きな声を出す訓練をして下さい。また、コールされる側も、聞き取りずらいまたは、疑問な点は次のポイントへ移行する前に双方確認する事。

特に大事な事は、インをアウトにしてしまうという、明らかなミスジャッジをする事。これに付いては、故意ではなくとも、アウトになって欲しいという願望も少なからず子供たちの心の中にあり、ついアウトにしてしまう現象がある。そこで求められるのが、ミスジャッジをした後の訂正する勇気を持つ事である。

小学生部門では、タイブレークマッチの試合方法が分からず、進行やカウントがあやふやな試合が多々ありました。試合に慣れていない選手も多いとは思いますが、ルールやカウント方法の最低限の指導をお願いします。

上記の点を、見過ごすことなく、コーチや保護者によるしっかりとした指導をお願い致します。

コロナ対策には万全を期しておりましたが、この参加者や引率者の中から、コロナ感染者が出ない事を切に願います。

室蘭ジュニアテニス大会
大会委員長 清水行海